

異類婚姻譚に登場する動物——動物婿と動物嫁の場合——

中村とも子

弓良久美子

間宮史子

日本の動物と人の婚姻譚にあらわれる動物の種類を明らかにし、つぎに蛇・猿・狐に関して、話型をはずしてサブタイプのレベルで分析する。最後にいくつかの話型をとりあげて、内容にそった分析の結果、得られた動物への見方について考察する。

資料は、同朋舎刊『日本昔話通観』、日本放送協会刊『日本の昔話』、岩崎美術社刊『全国昔話資料集成』、三弥井書店刊『昔話研究資料叢書』、ぎょうせい刊『日本の昔話』、桜楓社刊『木小屋話』、『五分次郎』をもちい、本州・四国・九州・沖縄を対象地域とした。北海道はそれだけで独自の研究となるので、今回の対象地域からは除いた。

第一章 異類婚姻譚にあらわれる

動物の種類

A 婿としてあらわれる動物の種類

異類婚姻譚に婿としてあらわれる動物の種類は、表1に示すように、「蛇婿入」の蛇、「猿婿入」の猿、「犬婿入」の犬、「猪婿入」の猪、「蚕の起こり」「馬と娘」の馬、「蛙婿入」の蛙、「たにし息子」のたにし、などである。これ以外にもさまざまな動物が登場する。どのような動物婿がどの地域に登場するかを地図を用いてあらわしたのが資料1である。一県からサブタイプごとに一話を選んで話型ごとにまとめ、東北・関東・甲信越・北陸・東海・近畿・中国・四国・九州・沖縄の一〇に分けた地域別の総話数を円の大きさを示した。円の大きさは、北陸の総話数を一とし、各地域のそれに対する比率で決めたものである。さらに動物婿としてあらわれる動物の種類割合を円グラフであらわした。これをみると、動物婿の種類は、東北・中国・九州において多く、北陸・東海では少ないことがわかる。また、どの地域も圧倒的に蛇が多く、動物婿全体のうちで蛇婿の占める割合は六〇％である。円グラフの外側にアンダーラインをひいて示してある動物は、その同一の話型において、動物婿がいれ

表 1

話 型 名	動 物	総話数	交替しうる動物
蛇 婿 入 り	蛇	340	狐, 狸, 猫, 蛙, いもり, たら, うなぎ, 魚, たにし, くも, むかで, 毛虫
猿 婿 入 り	猿	119	牛, 熊, 鹿, 狐, 狸, むじな, うさぎ
犬 婿 入 り	犬	26	
猪 婿 入 り	猪	8	
蚕 の 起 こ り	馬	18	
かわうそ婿入り	かわうそ	1	
とび婿入り	とび	1	
蛙 婿 入 り	蛙	10	
たにし息子	たにし	46	蛇, 蛙, かたつむり, さざえ, ニシ貝, なめくじ

かわっている場合の動物をあらわしている。このように動物がいか
かわっている場合を、仮に「動物婿の交替」と呼ぶことにする。た
とえば、東北の「猿婿入」には猿のほか、牛・熊・むじな・うさ
ぎがみられる。

ほかの地域においても、前述の蛇・猿・犬・馬・猪・蛙・たにし
以外の動物は、「蛇婿入」「猿婿入」及び「たにし息子」の各話型に
おいて、単に動物婿が交替しているだけであるということができる。
これらの話型で交替しうる動物の種類は、表1に示したように、「猿
婿入」ではホ乳類、「たにし息子」ではハ虫類・両生類・貝類であ
り、「蛇婿入」ではホ乳類・両性類・魚類・貝類・昆虫類である。

猿に交替しうるのは、同じホ乳類、たにしに交替しうるのは水に
関係する動物、と限られているが、蛇については、さまざまな動物
が交替しうる。交替しうる動物の種類は、圧倒的に東北が多く、特
に「蛇婿入」に関してそれが顕著であるが、これに対して東海・中
国・四国・九州・沖縄においては、蛇に交替しうる動物はあらわれ
ない。

地方的特色としては、猪の登場が中国・四国・九州に限られてい
る。これは、猪が本州南部・四国・九州に多く、北陸・信越・東北
にはほとんど棲息しない、という現実の棲息状態と一致している。
また、沖縄では「たにし息子」のたにしのかわりに蛙が登場する。

B 嫁としてあらわれる動物の種類

嫁としてあらわれる動物の種類は、表2に示したように、「蛇女
房」の蛇、「狐女房」の狐、「鳥女房」の鳥、「魚女房」の魚・貝、

資料 1
異類婚姻譚にあらわれる動物婿

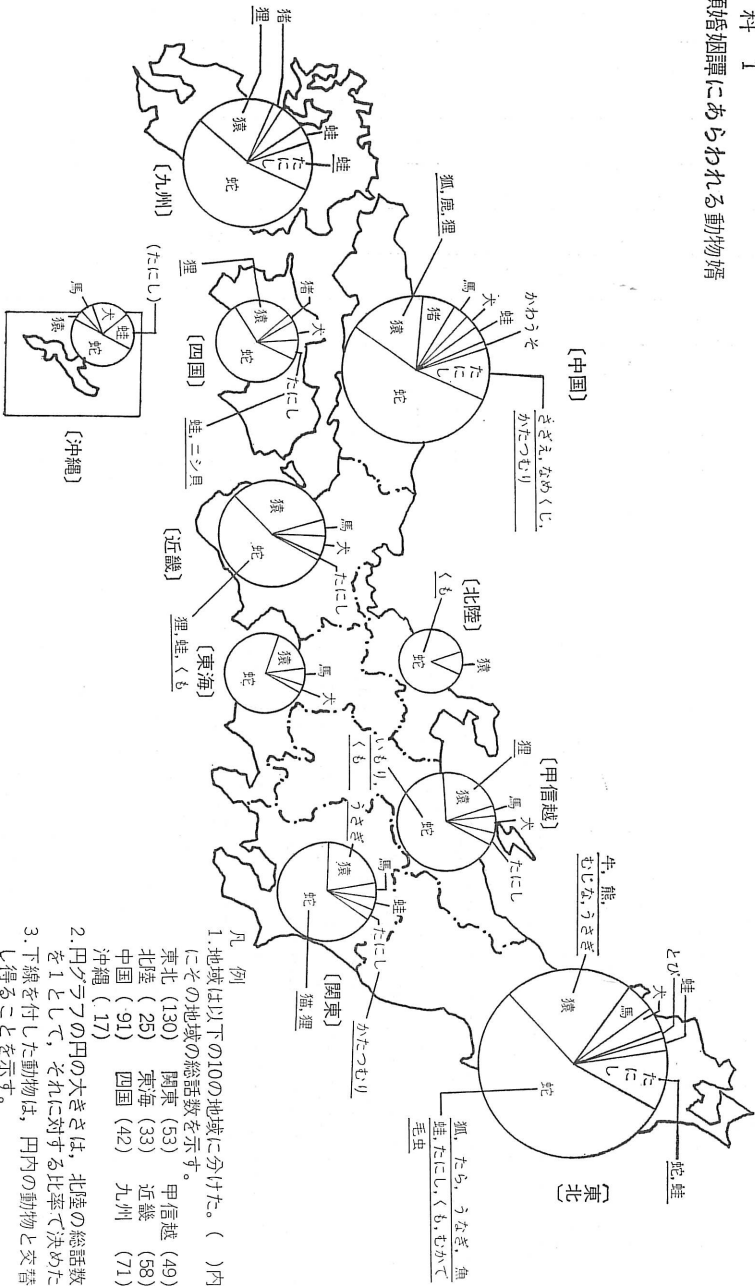


表 2

話型名	動物	総話数	交替しうる動物
蛇女房	蛇	146	
狐女房	狐	87	むじな, 狸, 狼
鳥女房	鳥	41	資料2参照
魚女房	魚, 貝	27	"
蛙女房	蛙	31	
猫女房	猫	4	
熊女房	熊	2	猿, ライオン
くも女房	くも	2	
ぶよの里訪問	ぶよ	2	
犬女房	犬	1	
たにし娘	たにし	1	

「蛙女房」の蛙、「猫女房」の猫、となっている。どのような動物嫁が登場するかを動物婿と同様に地図であらわした(資料2)。動物嫁の種類は、東北・甲信越・九州において多く、東海・近畿では少ない。婿の場合と同様、やはりどの地域も蛇の占める割合が高く、動物嫁全体のうちでは四二%を占めるが、沖縄には「蛇女房」がない。また東海・近畿には「魚女房」がなく、九州・沖縄では「熊女房」の熊とそれに交替しうる動物として猿・ライオンが登場する。「魚女房」について述べると、東北では、ます・こい・ふな・かじかなどの淡水魚が多いのに対して、中国・四国・九州においては

たいなどの海水魚と貝類が多くあらわれ、甲信越では淡水魚・海水魚・貝類のすべてがあらわれる。沖縄ではえい・ジュゴンがあらわれる。「鳥女房」にあらわれる鳥は、全国的には鶴が圧倒的であるが、東北・甲信越にはやまどりやきじが登場するのに対して近畿・中国・四国ではこうのとりが登場し、沖縄では浜千鳥が登場する。動物嫁にも前述の蛇・狐・鳥・魚・貝・蛙・猫以外のさまざまな動物が登場するが、動物婿にあらわれる動物のように、ある話型において交替しうる動物としてまとめることができない。すなわち、むじな・狸・狼は「狐女房」の狐に交替しうる動物としてあらわれるが、同時に「女房は狐」「婆は狸」などの別の内容の話型にもあらわれるのである。今回、異類婚姻譚としてはとりあげなかったが、人間に変身して人間と結婚する動物嫁の種類を表3に示す。

また「蛇婿入」においては蛇に交替しうる動物が多くみられたのに対して、「蛇女房」になると交替しうる動物はあらわれない。動物婿・動物嫁をあわせてみると、動物の種類については、日本列島の中央部には少なく、北部・南部に多いことがわかる。また婿嫁のいずれも、あらわれる動物は私達日本人になじみの深い動物ばかりである。しかし沖縄には現実には棲息していない熊・ライオン・猿という動物が登場する。沖縄の熊女房は大陸の中国に同話型があることから、中国から伝来したといわれている。

C 婿と嫁の両方にあらわれる動物

婿嫁の両方にあらわれる動物に関して、婿と嫁になる比率を表4に示す。婿として多くあらわれる動物は、猿・たにし・犬であり、

表 4

動物	婿	嫁
猿	60	1
たにし	46	1
犬	26	1
狐	1	44
鳥	1	41
魚	1	7
蛇	2	1
くも	2	1
蛙	1	3

表 3

話型名	動物	総話数	交替しうる動物
食わず女房	蛇	16	むじな, 狸, 狐, 猫, 蛙
食わず女房	くも	32	
女は狐	狐	2	
婆は狸	狸	1	
女房はむじな	むじな	1	
女は豚	豚	2	
千匹狼	狼	1	
千匹猫	猫	1	
さとり	むじな	1	

第二章 動物とサブタイプの関係

A 各話型のサブタイプ分布

一、蛇 婿 入

資料3に示すように、「蛇婿入」では、立聞き・針糸・たらい子・退治・水乞い——嫁入・蛙報恩・蟹報恩・鳥の卵（鳥の巢）・娘変身・姥皮（火焚き娘を含む）の一〇のサブタイプ（○印のついているもの）が全国的に分布している。その他の細いサブタイプは、東北・中部に多く分布している。

二、猿 婿 入

資料4に示すように、○印のついている手伝い——嫁入・水乞い——嫁入の二タイプが全国的に分布し、*印の畑打ち——嫁入は近畿・中国・四国に多く、◎の畑打ち——里帰り、手伝い——里帰り、水乞い——里帰りの三タイプは東北・関東・甲信越に多く、*印と◎印はちょうど逆の分布になっている。

三、蛇女房、狐女房

婿対嫁の比率は、猿では六〇対一、たにしでは四六対一となる。嫁として多くあらわれる動物は、狐・鳥・魚であり、婿対嫁の比率は、狐では一対四四、鳥では一対四一である。また両方にまたがってあらわれる動物は、蛇・くも・蛙であり、婿対嫁の比率は、蛇とくもがそれぞれ二対一で、蛙では一対三となっている。（文責 間宮）

（注） 保育社 原色日本哺乳類図鑑

ねずみ援助	犬婿入り	末娘出世	笛吹き	娘横死	番頭の智慧	蛇の子生み	浜下り	卵生子	娘変身・目の玉	猫報恩	蛇変身	約束	豆煎り	熱湯死	刀鍛冶と蛇	蛇の求愛	八郎太郎	蛇の泊まり	与蔵沼	女と蛇
1	3	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	3	1	4	1	1	12

資料3 蛇婿入 サブタイプ分布表

サブタイプ 県名		立	針	た	退	水	水	水	畑	手	露	蛙	蟹	鳥	娘	蛇	幸	姥	蛇	猪	観	
		ち	糸	ら	治	乞	乞	乞	打	伝	見	報	報	の	変	の	福	皮	婿	援	音	
		聞	子	入	誑	誑	誑	入	入	恩	恩	恩	身	世	娘	娘	娘	娘	娘	娘	娘	
東北	青森																					
	岩手																					
	宮城																					
関東	福島																					
	茨城																					
	栃木																					
	群馬																					
甲信越	新潟																					
	長野																					
	山梨																					
北陸	富山																					
	石川																					
東海	岐阜																					
	静岡																					
	愛知																					
近畿	三重																					
	滋賀																					
	奈良																					
	和歌山																					
中国	岡山																					
	広島																					
	山口																					
四国	香川																					
	徳島																					
九州	福岡																					
	佐賀																					
	熊本																					
	宮崎																					
沖縄																						
合計	36	38	18	28	27	4	1	5	3	1	20	29	18	15	4	5	29	5	1	1		

資料4 猿婿入 サブタイプ分布表

サブタイプ 県名		※ ◎ ○ ◎ ○ ◎ 烟打・嫁入 烟打・カチカチ 烟打・木土船 烟打・里帰 手伝・嫁入 手伝・里帰 手伝・撃退 水乞・嫁入 水乞・里帰 水乞・奪選 水乞・占い 姥皮/火焚娘 嫁入 猿変身 犬婿入り 猿婿援助 娘変身 幸福婚姻 子供出世 夫殺し 策略																				
		入	カチカチ	船	帰	入	帰	退	入	帰	選	い	娘	入	身	入	助	身	姻	世	し	略
東北	青森																					
	岩手																					
	宮城																					
関東	山形																					
	福島																					
	群馬																					
	栃木																					
甲信越	茨城																					
	千叶																					
	東京																					
北陸	神奈川																					
	新潟																					
東海	山梨																					
	長野																					
近畿	富山																					
	石川																					
	福井																					
中国	岐阜																					
	静岡																					
四国	愛知																					
	三重																					
	大分																					
九州	奈良																					
	和歌山																					
	京都																					
	兵庫																					
沖縄	岡山																					
	広島																					
合計	山口																					
	徳島																					
合計数		15	2	1	9	19	15	1	26	11	1	1	11	3	1	1	1	2	1	1	1	1

資料5 蛇女房 サブタイプ分布表

サブタイプ 県名		目	あと	蛇の子	笛吹	タプ	鳥の卵	蛙報恩	子残し	両親援助	蛇淵	蛇娘	嫁は大蛇	蛇女	田作り	秘密漏洩	蛇女中の煮出し	蛇の機おり	姉は蛇	蛇の泊まり	水の神の恋	照手姫と小栗判官	
		の玉	追	出	き	ー	卵	恩	し	助	淵	娘	蛇	女	り	洩	煮	機	は	の	の	と	
東北	青森																						
	岩手																						
	宮城																						
関東	福島																						
	群馬																						
	茨城																						
甲信越	新潟																						
	長野																						
北陸	富山																						
	石川																						
東海	岐阜																						
	静岡																						
近畿	三重																						
	滋賀																						
	大津																						
中国	京都																						
	兵庫																						
	岡山																						
四国	香川																						
	徳島																						
	高松																						
九州	福岡																						
	佐賀																						
	熊本																						
沖縄	宮城																						
	鹿児島																						
合計数		36	18	2	4	4	10	1	7	1	23	21	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1

資料6 狐女房 サブタイプ分布表

○ ○ ○ ※ ◎

サブタイプ		一人	二人	間	目	田	豊	呪	術	到	異	宝	子	機											
県名		女房	女房	き	の	植	作	宝	授	富	郷	生の	供	織											
		耳	玉	耳	玉	え			け	富	問	玉	世	り											
東北	青森	●																							
	岩手	●	●																						
	宮城	●	●	○																					
	福島	●	●																						
関東	群馬	●																							
	栃木	●	●																						
	茨城	●	●																						
	埼玉	●	●																						
甲信越	新潟	●	●																						
	長野	●	●																						
北陸	富山	●	●																						
	石川	●	●																						
東海	岐阜	●	●																						
	静岡	●	●																						
近畿	三重	●	●																						
	滋賀	●	●																						
	大阪	●	●																						
	和歌山	●	●																						
中国	岡山	●	●																						
	広島	●	●																						
	山口	●	●																						
四国	香川	●	●																						
	徳島	●	●																						
九州	福岡	●	●																						
	大分	●	●																						
	佐賀	●	●																						
	熊本	●	●																						
九州	宮崎	●	●																						
	鹿児島	●	●																						
沖縄	●																								
合計数		31	16	15	4	12	1	2	1	1	2	1	1	1											

資料7 畑打ち、水乞い モティーフ分布表

県名	モティーフ話型	畑打					水乞									
		猿	蛇	鹿	狸	猪	猿	蛇	蛙	牛	うねぎ	狐	狸			
東北	青森															
	岩手	■						■								
関東	宮城															
	福島										■					
	群馬	■						■								
	茨城								■							
甲信越	埼玉															
	千葉															
	東京															
北陸	新潟															
	長野															
東海	富山															
	石川															
近畿	福井															
	岐阜	■														
	静岡															
中国	愛知															
	三重															
	滋賀															
	大津															
四国	香取															
	徳島															
	高松															
九州	愛媛															
	福岡															
	大分															
	佐賀															
	熊本	■														
沖縄	宮崎				■											
	鹿児島															
合計	数	20	5	1	2	1				30	36	2	1	1	1	1

「蛇女房」は資料5のように、○印のついている四つのサブタイプ、目の玉、あと追い、蛇淵、蛇娘型が全国的に分布している。

資料6の「狐女房」では○印のついた三つのタイプ、一人女房、二人女房、聞き耳型が全国的に分布しており、◎印の田植え型は関東・中部・四国に分布している。また、田植え、目の玉型の二つは四国・九州には分布がない。

B 水乞いモテーフと

畑打ちモテーフの分布

資料7（右側）に示すように、蛇が水乞い型にあらわれるのが三六府県、猿があらわれるのが三〇府県とどちらも全国的に分布している。蛇、猿以外では蛙、牛、うさぎ、狐、狸が、数は非常に少ないが水乞い型にあらわれる動物として登場している。

また「猿婿入——水乞い型」のある県と蛙、牛、狐などが水乞い型にあらわれる県には、山口県を除いて「蛇婿入——水乞い型」がみられる。

畑打ち型（資料7左側）の場合は、猿が二〇府県、蛇が五県に登場し、特に広島では、鹿、狸、猪と交替しうる動物が豊かである。

畑打ち型の分布をみると東北・関東・近畿・中国・四国にややかたよりがみられる。

畑打ち型は「猿婿入——畑打ち型」のある地域に蛇・鹿・猪の畑打ちがみられる。このことから「猿婿入——畑打ち型」の主人公が蛇その他の動物に交替して登場しているといえる。しかし、水乞い型の場合は「蛇婿入」「猿婿入」ともに全国にひろく分布している

ので、両話型の共通モテーフであり、単なる主人公交替とは思われない。

C 火焚き娘モテーフの分布

資料3・4に戻り、「蛇婿入——火焚き娘型」をみると、三〇府県と全国的にひろく分布している。それに対し「猿婿入——火焚き娘型」は一府県に限られ、地域的には東北・近畿・九州に分布している。この「猿婿入——火焚き娘型」のある一府県のうち、佐賀と石川以外の九府県にはすべて「蛇婿入——火焚き娘型」があり、青森県三戸郡田子町、秋田県北秋田郡阿仁町などの四府県で市町村レベルでも分布が一致している。他の県でも、たとえば宮城県栗原郡築館町と登米郡中田町のように近距離にあり、「蛇婿入」と「猿婿入」の火焚き娘モテーフには地域的な相関関係のあることが考えられる。

D 「蛇婿入」と「猿婿入」の

サブタイプ全般の比較

資料3・4の波線の水乞い——嫁入、手伝い——嫁入、姥皮・火焚き娘型などの全国的分布のあるサブタイプが「蛇婿入」「猿婿入」で重複している。しかし、「蛇婿入」の最も大きなサブタイプである、傍線の針糸、立ち聞き型と蛙報恩、蟹報恩、鳥の卵（巢）型が「猿婿入」にはみられない。蛙報恩、蟹報恩、鳥の卵（巢）型は蛇そのものの生態と関係しているサブタイプなので、「猿婿入」になんかことはすぐわかる。また「蛇婿入」の針糸型、たらい子型のように

な蛇が娘をみこんで通ってくるという行為は、第三章でのべるが、蛇という動物への見方とむすびついでるので「猿婿入」にはあらわれないサブタイプだと考えられる。

また逆に、「蛇婿入」には嫁入型は数多くあるが、里帰り型は、福島に水乞い——里帰り型が一話みられただけである。「蛇婿入」「猿婿入」の水乞い型、畑打ち型は動物婿が蛇か猿かというだけで、話の構成は同じなので、蛇と猿が交替する可能性が大きいにもかかわらず、「蛇婿入」の里帰り型は一県だけにしかみられない。針糸型、立聞き型が娘と蛇の事実上の結婚を語るのに対して、水乞い型、畑打ち型のように、合理的内容であるサブタイプ群では、蛇と人が結婚することはほとんどなく、蛇は殺され、蛇への排斥を強く語る内容となっている。このように「蛇婿入」「猿婿入」は非常に似かよった話であるが、登場動物が蛇か猿かによってサブタイプや話型の結末が規定されていることがわかる。

E 鳥の卵(巢) モテイーフの分布

人間に変身していた蛇が、鷹や鷲の卵をとろうとして蛇体にもどって木に登り、鳥につつかれて殺されるという鳥の卵(巢) モテイーフは、「蛇婿入」「蛇女房」(資料3・5参照)の二つの話型にみられる。「蛇婿入——鳥の卵(巢)型」は東北全県を中心に各地方に散在し一八府県に分布している。一方、「蛇女房——鳥の卵(巢)型」は中部・中国を中心に一〇府県にわたっている。各県ごとにみると、宮城・新潟、福井の三県に「蛇婿入」「蛇女房」両話型の鳥の卵(巢)型がみられるが、他の所在県は一致しない。このことか

ら、両話型のどちらかの鳥の卵(巢) モテイーフが他方に結合したとは考えられず、むしろ、このモテイーフは蛇の生態と結びついたモテイーフであり、蛇が婿か嫁かにかかわらず登場するモテイーフだといえる。

F 目の玉モテイーフの分布

「蛇女房——目の玉型」(資料5)は三六府県にわたってひろく分布しており、「蛇女房」のなかでも一番多いサブタイプである。この目の玉型は、「狐女房」「食わず女房」「蛇婿入——娘変身型」「蛙女房」などの話型にも、数は少ないながらもみられる。「蛇女房」以外の目の玉型のある県をみると、岩手、秋田、山形、新潟、長野、山梨、岐阜、静岡、愛知と東北・中部地方にかたよがりみられる。これらの県にはすべて「蛇女房——目の玉型」が存在しており、秋田、新潟、山梨、長野、岐阜、静岡の六県では市町村レベルでも分布が一致している。このことから、「蛇女房」の目の玉モテイーフが他の話型に接続したと考えられる。(文責 弓良)

第三章 異類婚姻譚にみられる動物観

日本の昔話で、動物が婿や嫁としてどのように人間と接し、どのような運命をたどるかを、話の筋の展開に沿って分析し、そこから日本人の動物観をさぐってみた。今回とりあげたのは話型としてある程度数のまとまりをもつ「蛇婿入」「蛇女房」「猿婿入」「狐女房」「蛙婿入」「犬婿入」「猪婿入」「鳥女房」「魚女房」に限った。

A 動物が人間と結婚する理由

動物婿と動物嫁が人間と結婚することになる発端を分析し、整理すると、

- 1 人間からの報酬、または代償として人間と結婚する。
- 2 人間への報恩として人間と結婚する。
- 3 人間が望む、または動物がみこんで、人間の許へ来訪して人間と結婚する。

以上の三つに大別できた。

人間と動物の婚姻の説明として、動物が人間に何かをしてくれた報酬や代償に人間と結婚する、という語り方には論理性があり、動物が人間に助けてもらった恩返しに人間と結婚する、という語り方には倫理性が働いている。しかし、動物が人間を「みこむ」または人間が「何となく望む」ために動物が通ってくる、と語る来訪は合理的な説明ではなく、来訪してくる動物の現われ方に、すでに語り手の奇異な感じ方が含まれているといえよう。

個別の動物について発端の結婚の理由を調べ、まとめたものが資料8のグラフである。左に婿として登場する動物、右に嫁として登場する動物をまとめ、さきにあげた発端の三つの理由に現われる比率をみた。婿となる猿・猪・犬は「人間からの報酬、または代償」に高率で現われ、蛇・蛙は「来訪」にめだっている。しかし、「人間への報恩」として結婚する動物婿はないといえる。一方、嫁となる狐・鳥は「人間への報恩」に高率で現われ、蛇・蛙は「来訪」に高率であり、魚はちょうど五〇%ずつの割合で「報恩」と「来訪」

に現われている。

動物が人間と結婚する理由をまとめると、

- 1 動物婿は人間からの「報酬、または代償」として人間と結婚する。ただし、蛇婿と蛙婿は「来訪」という合理性のうすい理由で人間と結婚する。
- 2 動物嫁は人間への「報恩」のために、または「来訪」して人間と結婚する。「来訪」する動物嫁は蛇女房・魚女房・蛙女房に高比率がめだつ。

以上のことから、婿嫁の性別を問わず、ハ虫類、両生類、魚類といった水にかかわる動物に「来訪」が多く語られており、それらの動物たちへのぶきみな感じられ方がうかがえる。

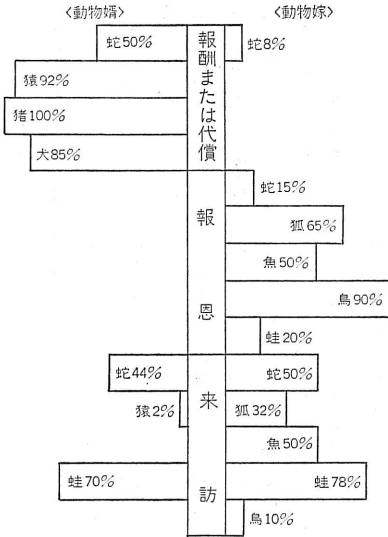
B 動物と人間の事実上の結婚と変身の有無

異類婚姻譚とはいうものの、動物と人間はどの程度の割合で事実上の結婚をするのか。また、結婚するときに、動物は人間に変身しているかどうか、という点を調べたものが資料9のグラフである。「事実上の結婚をする」「変身をする」の比率を左にまとめ、右にはいずれも「しない」場合の比率をまとめた。また、上段が動物婿、下段が動物嫁の比率である。

ひと目でわかることは、動物嫁が必ず人間に変身し、必ず人間と事実上の結婚をしているのに対し、動物婿はまとまりがない。ただ、傾向として、水の動物である蛇婿と蛙婿は、人間に変身して事実上の結婚をしている比率が高いのに対し、陸の動物である猿婿と猪婿は変身をせず、事実上の結婚もしない比率のほうが高いといえる。

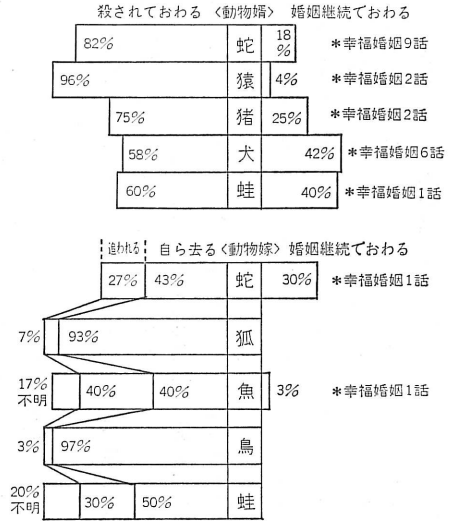
資料8

動物が人間と結婚することになる3つの理由における比率



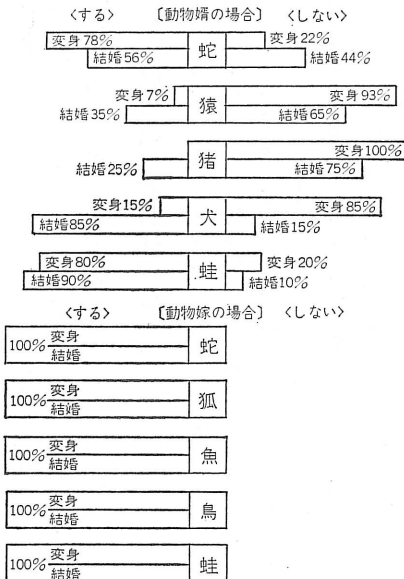
資料10

動物婿と動物嫁の迎える結末



資料9

動物と人間の事実上の結婚の有無と人間への変身の有無の比率



註) 資料1, 2の話し型ごとの総数を100とした場合の比率

さらにくわしく述べると、

1 動物嫁は必ず人間に変身し、人間と事実上の結婚をする（ただし、今回とりあげなかった話型のなかには、沖繩に分布する「熊女房」「えい女房」のように、動物の姿のまま人間と結婚する動物嫁がある）。

2 猿婿と猪婿は「変身しない」「事実上の結婚をしない」の比率がきわめて高い。事実上の結婚をしないという意味は、これらの動物嫁が娘を伴って自分のすむ世界へ行く途中、なんらかの方法で殺されてしまうサブタイプが多いことである。「猿婿入」と「猪婿入」を話型分析すると同一の内容の話型だといえる（ここでは枚数の制約があるので詳細は省略）。したがって、猿と猪の動物嫁が交替して登場しうる話型だとの見方をすれば、変身や結婚をしないという語られ方が似てくる理由の一つはそこにあるといえる。

3 蛇婿と蛙婿は「変身する」の比率が高い。また、蛇婿は半数以上、蛙婿は九割が「事実上の結婚をする」。

4 犬婿は「変身しない」が、人間と「事実上の結婚をする」比率が高く、ここにあげた動物婿譚のなかでは特殊な傾向を見せている。

動物が変身することと、人間と事実上の結婚をすることのあいだには相関関係があるといえる。すなわち「変身する」比率が高ければ「事実上の結婚をする」比率も高くなり、「変身しない」比率が高ければ「事実上の結婚をしない」比率も高くなる。動物嫁の場合は一〇〇%両者が一致し、動物婿の場合は「犬婿入」を除いて両者

の相関関係がみられる。このことをいいかえるなら、動物と人間の事実上の結婚が成立するには、動物が人間に同化（変身）しなくてはならないという意識がうかがえる。

C 動物婿と動物嫁の迎える結末

動物婿と動物嫁はどのような結末を迎えるのか。まとめたものが資料10の図である。上段が動物婿、下段が動物嫁の場合である。両者の迎える結末は大きく違っており、動物婿は殺されて終わる場合が圧倒的だが、動物嫁は殺されることはなく、正体を見られたので自分から去る、または、正体を知った人間が追いだすという終わり方をしている。動物婿のほうが動物嫁よりきびしい排除を人間から受けるわけだが、Bの「動物と人間の事実上の結婚と変身の有無」で言及したように、動物婿は人間と事実上の結婚に至る前に殺されるサブタイプが多いので、動物嫁にくらべると二重に排除されている一面が強い。

その一方、人間と動物の婚姻継続を語るものは動物婿のほうに多い。さらに数としては少ないながら、人間と動物が幸福な結婚をして終わる話が、婚姻継続のある話型のなかに必ず表われている。

少し特殊なのは「蛇女房」で、他の動物嫁にくらべると婚姻継続の比率が高い。これは、池や川の主にみこまれた人間の娘が蛇に変身して池や川の中に入るといふ蛇娘型・蛇淵型のサブタイプが多いためである。また、動物嫁は殺されて終わることはないと前述したが、「蛇女房」に限り、殺される蛇嫁のサブタイプもある（「追われ」の二七%の中に含めた）。この結末をもつサブタイプは「蛇婿

入」の鳥の卵（または鳥の巢）型と同じサブタイプと、いわゆる安珍清姫といわれるあと追い型である。この二つのサブタイプは蛇の性別がいれかわって語られることがままあり、どちらの性で語られても殺されて終わっている。すなわち、性別による結末の違いはなく、サブタイプそのものが結末を規定しているといえる。

また「蛇婿入」で語られる婚姻継続は、「蛇女房」の蛇娘型・蛇淵型にみられるものと同じく、人間の娘を蛇のすみ家にひき入れるというもので、話型と蛇の性別はちがっても蛇の性格はほぼ同じものだといえる。これらのサブタイプのようにストーリー性に乏しく特定の場所や人にまつわる伝説として語られる「蛇婿入」「蛇女房」に登場する蛇には、人間の合理的な力がおよばない霊力があると認められている。

動物嫁の迎える結末で、狐と鳥は「自ら去る」の比率が高いのがめだつ。また、蛇・魚・蛙ではいくぶん排斥感の強い「追われる」の比率が、狐と鳥にくらべると高いことができる。資料8の動物嫁が人間と結婚する発端にもどって、狐と鳥は「報恩」から人間と結婚する比率が高く、蛇・魚・蛙は「来訪」して結婚する比率が高いと述べたが、発端における狐と鳥対蛇・魚・蛙というグループわけが結末でも一致している。つまり、陸の動物（狐・鳥）は報恩のために人間と結婚し、正体を知られて去っていくという解釈のしやすい行動をとる。しかし、水の動物（蛇・魚・蛙）は来訪という合理性のうすい理由で人間と結婚し、正体をみやぶられて追いだされるというぶきみさが残る行動をとる。水の動物嫁の語られ方にはある種の妖怪性の認識がうかがえるのではないだろうか。

動物婿と動物嫁の迎える結末をまとめると、

1 動物嫁は正体を知られて自ら去る、または追い出されるが、殺されることはない。ただし、「蛇女房」では「蛇婿入」と同じサブタイプでは殺される。

2 動物婿は殺されるというきびしい排除をうける。ただし「蛇婿入」では「蛇女房」の蛇娘型・蛇淵型と同じ内容のサブタイプで、蛇が人間を自分の世界にひき入れるという優勢を示す。

3 幸福な婚姻の成立で終わる話は少ないが、動物婿のほうに多くあらわれる。その場合、

a 人間が動物に変身する

b 動物が人間に変身する

c 人間が動物の世界へいく

の三つの条件の一つが整うと幸福婚姻が成立している。このことをいいかえるならば、人間と動物が婚姻によって幸福になるには、どちらか一方が相手と同化するか、または、人間が動物の世界の住人になったときだけである。人間と動物がそれぞれの姿を保持したまま人間界で幸福になることはできないという隔絶が両者のあいだにはあるといえよう。

D 動物婿と動物嫁の發揮する力

最後に、動物たちが人間に対して發揮する力について述べておきたい。動物嫁の狐・鳥・魚は機織り、家事、看護といった非常に物語動物的な能力を發揮する。その一方、狐は聞き耳型に代表される呪物を人間に与え、田植え型に代表される豊穰を人間にもたらす。

また、動物嫁の蛇は目の玉型に代表される呪物を人間に与えるかと思えば、あと追い型や蛇淵型に代表されるような、火を吐いて鐘を溶かしたり、暴風雨をおこし、沼を作り、地形を変えるなどの超自然的な力もみせる。そして、「狐女房」と「蛇女房」には、人間とのあいだに子供が生まれ、その子が呪物によらない特殊能力をもって成長し出世したと語る動物嫁の血筋をひく者の優位性の方がえる話が少なからずある。

動物婿では、発端が水乞い型や畑打ち型で始まる時、動物婿たちは一晩で水を引いたり畑を打ってしまったたりする（蛇・猿・猪）。しかし、彼らの力は話の発端部においてのみ語られ、その後の話の筋にかかわってくるような力の發揮はみられない。まとめると、

- 1 動物嫁は物語動物的な力を發揮する。
- 2 「狐女房」「蛇女房」では呪物・豊作を人間にもたらし、その後、子供の成長や人生を語る話がめだつ。
- 3 「蛇女房」は「蛇婿入」と同じく、水や自然を支配する力を語るものがある。
- 4 動物婿は発端で、水の支配や畑打ちへの力を發揮するが、呪物・豊作を人間にもたらしたり、子供の成長や人生を語るような永続的な力を發揮することは少ない。

以上、いくつかの点にしぼって動物への人間の感じ方をさぐってみた。全体を通していえることは、婿になる動物と嫁になる動物への見方は明らかに違うが、両性にまたがって現われる蛇・蛙には共通する認識もうかがえる。つまり、動物への見方は、まず婿入譚と

嫁入譚の話型にはめこまれて規定されるが、一方で、その動物独自のもつ特性が話型や性別をこえて共通してくる。また、大きく、陸の動物と水の動物にわけたとき、婿・嫁を問わず、陸の動物より水の動物のほうに複雑な見方が働いているといえる。（文責 中村）

【参考文献】

- 中村禎里「日本人の動物観―変身譚の歴史」海鳴社（一九八四年）
- 高橋喜平「雪国動物誌」創樹社（一九八一年）
- 大木 卓「猫の民俗学」田畑書店（一九七九年）
- 吉野裕子「蛇―日本の蛇信仰」『ものと人間の文化史』32、法政大学出版局（一九八四年）
- 同 「狐―陰陽五行と稻荷信仰」同39、同（一九八五年）
- 広瀬 鎮「猿」同34、同（一九八〇年）
- 小澤俊夫「世界の民話」中公新書（昭和五四年）
- 同 編「日本人と民話」ぎょうせい（昭和五一年）
- （なかむらともこ・ゆみらくみこ・まみやふみこ）